



三木高大 自治会新聞

令和3年4月号 (No.171)

発行 三木市高齢者大学学生自治会
発行責任者 自治会会長 米村 隆
編集者 自治会新聞編集委員会
発行日 2021(令和3)年4月20日

<http://koureisyadaigaku.cccp.jp>

自治会会長就任挨拶

新入生の皆様 ご入学おめでとうございます



そして在校生の皆様には、進級おめでとうございます。
厳しかった冬が過ぎて、待ち遠しかった春の到来です。

「まなびの郷みずほ」の教室の窓から周りを見ていると逞しい生命を感じさせる光景が広がっています。

しかし、一方ではワクチン接種が始まっているものの新型コロナウイルス感染の収束は見通せず、また大学においては学生数の急激な減少という新たな問題に直面しています。それに対応した自治会活動の在り方も求められているのです。いやいや、そんな暗い状況ばかりに溜息をついても仕方ありません。

現在の課題にしっかり向き合い本年度の自治会活動を充実したものにしなければなりません。そこで本年度の自治会活動のスローガンを次のように設定しました。

～学びを楽しみ、絆を深めよう～

具体的な方針としては、何よりも先ず心身の健康を保つことを第一としながら、講座の内容を生活に活かし友人・知人に広めたり、クラブ活動で自分の力を再発見し親睦を深めたり、居心地のいい地域づくりのために、高齢者力を大いに発揮していただくことなどです。一方、自治会活動を楽しく充実するために、簡素化や効率化も進めていかなければなりません。

自分の意思で入学された積極的な学生の皆様は、豊富な人生経験や社会経験をお持ちの方ばかりです。学びの中でこれまでに培われた力や知識や技能、個性などを大いに発揮していただきたいと思います。そして、みんなでより良い高齢者大学を求めようではありませんか。



自治会会長 米村 隆

新入生を迎えて



三木市高齢者大学
学長 井上 京子

ご入学おめでとうございます

本年度の入学募集に関して、「コロナが不安で入学を躊躇している」「家族からもう少し様子を見るように言われた」というお声をたくさん聞きました。一方「家にいることが多くなって、これはだめだと思っている」など、両方のお気持ちは大変よくわかります。そのような中、入学を決意していただきました皆さまに心から歓迎を申し上げます。



コロナ禍で、私も迷うことが多々あります。そのような時「できる人は、できる方法を考える」「できない人は、できない理屈を考える」という言葉が心に残りました。できる・できないは、能力的なことではなく「前向きな気持ちの持ち方」のことです。まだまだ続くであろうこのような状況下において“無理はしない”、しかし“前向きな気持ちは忘れず”に進めて参りたいと思います。

三木市高齢者大学は、豊かな経験を積まれた人達が同じ立場で楽しく学び、遊び、その交流を通しながらつねに高きものをめざしてお互いの人生を豊かにしていこうという人達の集まりです。新しい仲間とともに元気で楽しく学んでいただきたいと思います。皆さまの主体的で喜びに満ちた活動の日々であることを願っております。

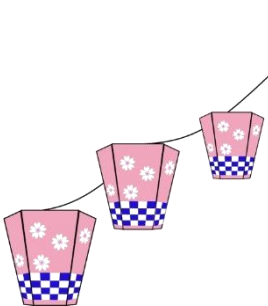
ひろば

～雑感～

現下の世情を問えば地球規模の天変地異を始め未曾有のコロナ禍もまた、主義主張の異なる政変に依る弾圧も察するに余りあるおぞましき脅威です。私の偏見かも知れませんがそれらの事象は進化し続ける文明社会と人のなせる経済至上主義の奢りへの警鐘と思われてなりません。そんな中であって大学を取り巻く環境にも翳りが感じられます。愈々入学応募の動向に激減の兆候は避けられません。

一方、団塊の世代が押し迫る時代背景を鑑みてこの際、培われて来た「まなびの郷みずほ」の伝統文化にも普遍的で持続可能な処方箋が急がれるところです。例えば公民館の登録団体や「老人会」の押しも押されもせぬ地縁団体の概念を超えた機構改革の英断も一考に値するのではないでしょうか。

それらの時代を先き取りした発想の転換こそはシンボリックに福祉のまちづくりそして新しいコミュニティ創出に繋がると思われます。その際、忘れてならない大切な事柄として豊かな交通利便を念頭に“グランドデザイン”が求められているやに思う今日この頃です。



くかぞえ唄
一つ 瑞穂の里に春が来た
二つ 縁が織り成す学び舎で
三つ 友情育くみ想い出も
四つ 仲間づくりは笑顔が一番
五つ こは楽園ユートピア



3年4班 田原 正巳

第二次 TF 委員会報告



前年度学生数減少を予測して TF 委員会を立ち上げ、今後の学生自治会が成り立つよう検討され改革されました。しかし、1 学年約 30 名と想定していましたが、今年度想定以上に学生数は減少し、3 月現在新 2 年生は 20 名です。

この現状を考えると早急に学生自治会の役員数並びに行事数の更なる削減且つ、すべての面で簡素化しないと自治会活動は人数的に無理が生ずるのは明らかです。よって「**学生数減少による諸問題**」にテーマを絞り第二次 TF 委員会を立ち上げ 7 回の委員会で改革案を検討しました。

◎自治会役員数削減については

- 1.2.4 年生 副会長（男性）、副会長（女性・学年会計兼務）、総務の 3 人（現状 4 人）
3 年生 会長、統括総務、副会長（男性・統括会計兼務）、副会長（女性・学年会計兼務）、総務（監事兼務）の 5 人（現状 8 人）

以上、役員数減少については自治会規約変更が必要ですが、次年度も入学生未知数のため、次年度は「**試行案**」とする。

◎行事の削減については（実行委員会の人数並びに委員会の回数の削減）

- スポーツデー 存続 委員数 9 人（現状 20 人）委員会回数 5 回（現状 7 回）
体育祭 存続 委員数 11 人（現状 20 人）委員会回数 5 回（現状 10 回）
大学祭 存続 委員数 10 人（現状 20 人）委員会回数 9 回（現状 12 回）
研修旅行 廃止 （現状委員数 14 人、委員会回数 14 回）
清掃活動 実施 （実行委員会は廃止、現状実行委員 34 人委員会数 7 回）
統括総務指導の下、感謝の気持ちを込めて校舎内の清掃を実施

以上、存続の行事についてはいずれも親睦、絆を深める大事な行事なので簡素化を前提に存続する。又、実行委員数 108 名が 30 名に、実行委員会回数 50 回が 19 回と大幅に削減されました。

しかしながら、令和 3 年度の入学生は未知数ですがコロナウイルスの関係で多くを望めないと思われます。入学生の人数によっては再度検討が必要と危惧しております。



専門講座だより（園芸学科）

実仲間と座学、更に仲間と 実践を楽しみませんか？

園芸学科は盆栽講座と野菜作りの二つあり、最近の講座内容の紹介をします。

*森脇先生の盆栽講座

座学の先生の名文句を列挙します

（子育てに似てる！！）

- 盆栽の冬の手入れは春のため、夏の手入れは秋を華やかにするため
- 水は、細かい水を酸素と一緒に時間をかけて与えること
- 土は、粉が少ななものを選んで空隙から水と空気を入れること

昨年末に「松竹梅の寄せ植え」などを教室でおこない、正月の玄関を華やかにしました。課外実習は、先の3月15日に吉川町にある「森脇ガーデンハウス」で、メンバー17名が参加、「寄せ植えの植え替え」などを行いました。思い出に残るメンバーとの楽しいひと時でした。

*小田先生の野菜づくり講座

苗、種、肥料の選び方、育て方、収穫の時期、保存方法など細かく丁寧に教えていただけます。最近、エンドウ、玉ねぎ、イチゴ、ジャガイモ、ソラマメ、黒豆が話題で、メンバーの中に「園芸クラブ」所属の方が数名おられ、困りごとを質問されると適格に、丁寧にアドバイスしていただきました。

野菜作り新米の私は、つい先日「園芸クラブ」の高大クラブ農園（大学から徒歩2分）を見学。現役の学生、OBの方が本当に楽しく野菜作りをされているのを目の当たりにしました。座学で学んだことは、この「園芸クラブ」で実践し、疑問点は専門講座で質問する。そこには仲間もいる。これは素晴らしいと実感した次第。

この新聞が発行される頃には、クラブで仲間と一緒に野菜作りレベルアップを図りたい。



スポーツデーのご案内

グラウンド・ゴルフ大会を開催!!

新入生の皆様、三木市高齢者大学へのご入学おめでとうございます。また、在校生の皆様も新学年になり気持ちを新たにされていることと思います。

このたび大学学生自治会では「スポーツデー」を開催することになりましたのでご案内いたします。昨年度は新型コロナウイルス感染症の流行が原因で中止になり大変残念でしたが、今年度は感染予防に配慮しながら、初心者もベテランも楽しめるグラウンド・ゴルフ大会を実施します。在校生はもちろん、大学院生、学友会、大学職員も参加するチーム高大による親睦交流会として盛大に開催します。緑の芝生が美しい広々とした屋外での競技です。力を合わせての団体戦と個人戦での表彰もあります。笑顔になって学友との親睦を深めましょう。皆様との新しい出会いを楽しみにお待ちしております。

開催日：5月25日（火）雨天の場合5月26日（水）

時間：8:30～12:30

開催場所：三木総合防災公園グラウンド



スポーツデー実行委員長 3年4班 板井 雅美